

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

(2023年5月)

(2023年6月22日)

(2023年11月22日と12月21日)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年度、ほうばいの絆の全職員で作った理念を見えやすい場所に掲示している。それに沿ったケアが出来るか常に振り返りつつ、実践につなげるように取り組んでいる			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ以降、地域との交流が本当に減ってしまっている。毎月開催されているふれあい市場に買い物へ出かけたり、地域のお店やカフェを利用したりするくらいの交流にとどまっている。認知症の理解や支援方法の共有はできていない。	ほうばいの絆として今後どのようなアプローチをしていくか。コロナが5類に移行したが、もし陽性者が出たら今までと変わらない対応なので感染対策を徹底しつつご家族と一緒に何かする、教育機関の人にメンバーになってもらう等してはどうか。また、グループホームは認知症に特化した施設なので、認知症の啓発活動にも取り組みたい。今までは施設と学校の交流があり、それを通じて地域で出会った時に話しができたり、「グループホームにいる人はこんな人なのかな」と思っていただけの機会があったりした。少しずつ段階を踏んで進めていきたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年度はコロナの感染状況によって文書開催のことが多かったが、運営状況についてはしっかりお伝えしたと思う。文書開催でもFAXでご意見や質問を受け付け、管理者が返答している。頂いたご意見は職員に伝え、意識して取り組むようにしている	偏らず色々なジャンルの人で、運営推進会議のメンバーが構成されているので良いと思う。 文書開催だった時にいただいたご意見や質問、その返答をまとめ、全メンバーに周知するようにした方が良い。(お互いのやり取りで終わっていたので)		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故報告、コロナに関する事等についてなど、何かあった時には伝えるようにしている。問い合わせはしやすい状況とだと感じている。	町主催の会議や研修を盛り込んでいくと良いが、あまり開催されていない。 町の災害対策部門とつながりを持てるようにすることも課題。		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3か月に一回、ミーティング時に身体拘束廃止委員会を開催し、研修もおこなっている。気が付かないうちに拘束をしていないか、お互いに注意し相談ができるような関係作りを意識して関わっているようにしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「介護施設・事業所における虐待防止プログラム」を毎月のミーティングで、1センテンスずつ全員で受講して虐待について知識を深め、スピーチロック等の勉強もおこなっている。お互いに意見し合って虐待を看過しないように努めている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のミーティングで高齢者虐待について研修をおこない、理解を深めている。全体の委員会でマニュアルやフローチャートを整備し、看過しない仕組み作りに努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「介護施設・事業所における虐待防止プログラム」の受講、ほうばいでの事例をもとに話し合うなどおこなっている。法人の委員会で「高齢者虐待防止マニュアル」とフローチャートを作成中。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が入居の契約時に制度についての説明はおこなっている。成年後見制度等についての職員研修もしているが、その活用については開所以来該当がない。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が入居時にご家族に対して説明をさせていただいている。何かの変更や改定がある場合は、各ご家族に直接電話連絡し、説明、ご了解をいただき、後日、文書での確認をしている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスが猛威を振るい、今までのような面会ができなくなったことへのご意見がとても多いが、当事業所の判断だけでは決定できないので、反映が難しい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ショートメール、電話で連絡は取り合っている。ホームページやTwitter、Instagram等でご入居者の様子を発信している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営に関する意見があまりないというのが現状。もっと意見を出してほしいことや、意見が出しやすい環境作りへの働きかけが必要だと感じる。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけ希望の勤務や休みになるようにしたり、能力に合った役割を担ってもらい、やりがいを感じてもらえたりするように努めている。労働に対する給与水準は高いとはいえないので、改善を要する。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年に1回の人事考課をおこない職員個々の取り組みや努力等を把握している。また、一人ひとりの頑張りが認められ、お互いに自信を持って取り組めるような組織の構築をしている最中。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ジョブメドレーのサイトを利用し、いつでも各自が研修を受講できる環境になった。キャリア段位制度の取り組みや、ケアの実演研修もおこなっている。しかし、コロナ禍のため、外部研修への参加は少なかった。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修の情報は個人で収集したり、事業所に届いたものは伝えるようにしている。キャリア段位制度の取り組みやジョブメドレーの受講、外部講師を招いての接遇研修をおこなっている。また、内部研修は年間計画を立て、担当を全員で持ち周って勉強するようにしている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議への参加で情報を収集し、ケアに活かす努力はしているが、勉強会や訪問などは、あまりできていない			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「ここは皆さんのための場所」であるということを全職員が理解して関わっている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お電話、お手紙、ガラス越しの面会、神社、お店の利用などしているが、コロナ以降、今までのような面会ができていないことで、ご本人にもご家族にも心身ともにご負担をかけている。	2023年6月現在、複数の条件はあるが、居室での面会ができている。今まで使用してきたツールも使いつつ、ご入居者お一人お一人がもっているつながりを保つことができるように支援する。		

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日課は無く、できるだけお一人ずつの意向に沿った生活をしていただくよう努めている。しかし実際はご入居者が周りに合わせて動かれることが多い。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	モニタリングは月ごとの担当制でおこない、ケアマネが3ヶ月ごとに介護計画を見直している。その際、ご本人・ご家族に新たなご希望や配慮点について必ず確認してから作成している。また、ご様子の変化が大きい時にはご家族に伝え、時期を早めて再作成するようにしている。	ご希望の聞き方の工夫、押し付けになっていないか考えながら対応する必要がある。職員個人とご家族のつながりを、もっとしっかり持ちたい。ただし、職員一人の個人的見解や想いの伝達になってしまわないように注意。ご家族がどんな思いで施設に預けておられるか、忘れてはいけない。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段から関係作りに努めており、ご本人・ご家族の意見を取り入れて作成している。



18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケア記録は個別に1時間1エピソード以上を記載するようにしている。また、特に配慮を要することなどは連絡ノートにも記載、ラインワークスを利用して医療チームへも伝え、情報共有しケアの実践につなげるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人が発した言葉を拾うように意識して書くように、普段から確認し合っただけ対応している。医療チームからの情報はラインワークス中心にやり取りをして記録にも残すようにしている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時の希望に沿うことができるよう方法を柔軟に考えて対応している。医療チームとも相談し、視野を広げた対応を心がけている。	医療との連携がとりやすいことは、ほうばいの絆の特長。ナースや主治医とのやり取りを今後もしっかりおこない、意見の出し合いができる関係作りをしたい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の把握が十分とはいえない。また、把握はできていても、なかなか利用するまでに至っていない現状がある。	地域包括センターや教育機関、病院等、いざ活用する際、動きやすいようにリストの作成をした方がよい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護とは24時間体制での連携をしているので、いつでも相談ができる。また、主治医とのかわりも深く、適切な医療を受ける体制が整っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院の地域連携室(またはご家族を介して)と情報を交換したり、その後の動きについての相談を進めたりしている。入院先になる可能性がある病院の会議や研修に参加して、つながりを持つように努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療との連携が取りやすい特長を生かして対応ができている。窓口は管理者で良いが、他職員も他病院との関係作りや対応ができることが課題。	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化したときには、いつもよりこまめにご家族に連絡をし、現状をお伝えしたり、医療チームとの話し合いの場を持つたりして方針の確認をおこなっている。緊急時の対応について年に1回、ご家族のお気持ちを確認し書面に残している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療チームとの連携もとれており、今までの関係を活かした取り組みができている。ご家族が後悔しないようなお看取りをすすめるように心掛けている。	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訓練や研修は定期的・必要時などにおこなっているが、スキルに個人差があり、全員が実践力を身につけているとはいえない。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	色々なパターンを想定し、定期的に全体でも事業所でも訓練をしている。しかし、パターンがたくさん考えられるため、それぞれの避難方法や連絡方法を理解しているか不安がある。消防署との訓練はおこなったが、地域住民との協力体制が築かれるまでには至っていない。	地域と連携するといっても、地域や施設によってマニュアルはそれぞれ違う。「有事の時に自分たちでどこまでできるのか」を分かっていなくてはいけない。ほうばいの絆は法人の中の一施設なので、法人としての取り組みができていれば良い。まだ、完璧ではないので、委員会を中心に取り組んでいく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	地域と協力することはなかなかできていない。法人内では地震・水害・台風・火事などの避難訓練はおこなっている。しかし委員会や管理職以外の各職員誰もが、しっかり対応をすることができるとは言えない。課題が残る。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に「人生の大先輩」だということを意識して、必ず敬語で対応している。個人的なことをお伝えするときの場所や、声の大きさに配慮すること、お部屋にお邪魔するときのマナーなども併せて気を付けている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年ごとの振り返りシート実施、権利擁護やプライバシー保護の内部研修に加え、ジョブメドレーでの動画研修をおこなって、知識の習得やそれを日々の関りに活かすよう努めている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆さんのための場所なので、ご入居者ファーストで対応することを一番に考えている。しかし職員の人数や会議の都合等で、ご希望に沿えないことが時々ある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	握り寿司やお刺身の希望が多いので、市販のものを購入して楽しんでいる(生もの提供ができないため) 食事作りはもともとあまりできていなかったが、コロナ禍で、さらにできていない。食器拭き等も感染防止の観点から中止している。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	敬老会や秋祭りの食事をみんなで作ったり、厨房からの食事に加える一品を作ったりしている。日頃のおやつと一緒に作ったり、ウエイレス役を買って出たご入居者がお茶を配ったりして、和やかなティタイムを過ごすことができるようにしている。また亥の子の時の「亥の子餅」、節分の「恵方巻」など季節行事に絡めた『食』も楽しんでもらうよう意識して取り組んでいる。厨房の食事はお節料理、節分、ひな祭り、端午の節句、七夕、敬老の日、クリスマスの行事食や、地方の郷土料理などの提供があり、工夫を凝らしている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病状により主治医からの指示(低脂肪食・減塩食・水分摂取制限など)がある人は、それを守りつつ対応している。小食の人は高カロリーゼリ			



				一や栄養補助飲料、好きなお菓子等でカロリー摂取を心がけている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアの支援をしている。自立対応の人、うがいで自立している人、全介助の人、歯ブラシ使用、スポンジ使用、液体歯磨き使用など、適切な道具で必要な支援をしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアや毎晩の義歯消毒などに努めているが、歯科医師や歯科衛生士の指導はおこなっていないので今後の課題。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ほとんどの人に排便コントロールが必要なので、医療と連携し今の状態に合わせた対応をしている。できるだけトイレで排泄していただけるよう努めているが、抱えない介護を推奨しているので、難しいこともある。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	可能な限りできるだけトイレでの排泄を心がけて対応している。そのことで、お体に負担があったりお怪我をしたりしてしまう可能性があるので注意を要す。医療チームと連携しつつ、排泄パターンや習慣を大事にして関わっている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴は毎日個浴で対応している。職員数が少ない時は、ご了解を得て早めに入っていただく事もあるし、入りたくない時には清拭や足浴で保清対応をおこなっている。身体機能に合わせて機械浴対応もしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お部屋や和室(コタツ)など、ご希望をお聞きして休んでいただいている。室温や湿度、布団の種類等にも配慮し、昼夜問わず休みたい時にゆっくり休んでいただくよう努めている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各自で薬情、お薬手帳やアセスメントシートの記載を見て確認している。また、ラインワークスを利用して医療チームと連携し、薬の変更や対応に間違いがないよう努めている。職員にスキルの差があるのが現状。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全職員が、薬の目的や副作用を把握しているとは言えない。薬の追加や減量、変更等による体調の変化について、医療チームへの連絡を充分していると言えないこともあるので、誰もがその対応ができるように努めたい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	「張り合いのある日々・楽しみ」等の目標を、介護計画の一番上に掲げて対応している。お一人お一人の性格や仕事歴等にも配慮し、生活の中でイキイキと過ごせる時間や達成感を	職員も一緒に楽しめている印象がある(タイトル等みて)。職員自身が持っている質、得意なことを活かした行事展開ができていると思う。今後は、思いを口に出不さない(出せない)ご入居者のお気持ち		

				味わうことができる時間を大切に 関わるようにしている。	ちを、どうくみ取って張り合いのある 日々につなげるかが課題。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で、なかなかご希望に沿って出かけることが難しい1年だった。馴染みの場所へドライブしたり、近くへお散歩に出たりすることはあったが、以前していたような、ご家族と一緒にカラオケや外食を楽しむということ等は全くできていない。	コロナを言い訳にしないように関わる必要がある。段々と動ける範囲は広がってきているが、対策は今後も継続しなくてはいけない。冠婚葬祭(お墓参りなど)もご入居者にとってとても大事なことなので、支援を続ける。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	お金は事務所で預かりしていて、お出かけの時に支払いをしていただく事はある。手元に数千円持っているご入居者もおられたが、なくてはならないから…と結局あずけてこられるケースが多い。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族からお電話をいただく事もあるし、こちらからかけることもある。お友達との電話を楽しみにされている人もいる。また、季節のお便りをご入居者と一緒にご送付することもある。ブログ等でこまめに記事をアップし、遠方のご家族にも様子を知っていただけるようにしている			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お部屋には自筆の表札を付けたり、トイレやお風呂には分かりやすい表示をしたりしている。ホーム内がどこも清潔で気持ち良い空間になるように掃除したり、季節ごとの装飾を玄関やリビング、食堂やトイレなど各所に施したりして、工夫している。	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感に配慮した装飾や清潔感に気を付けて対応している。食堂に皆さんの日々の写真を貼ったり、スケッチと一緒に作った折り紙、習字の掲示をしたりしている。できるだけ一緒に飾るようにも配慮して対応している。	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「ここにおれば大丈夫」とおっしゃってくださるので、ほぼできていると思う。しかし思いやご希望を全て口にしておられることはないだろうし、我慢されていることも必ずあるので、すくい上げることができるように努めなくてはいけないと考えている			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上の欄と同様。お会いしたい友人やごきょうだいについて、今はすぐに対応ができない状況のことが多い。			
42	43	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療チームと連携して対応にあたっている。年齢を重ね、急変や今までと違う状態になることが増えているので、状況別にどう動くか良いのかを時々確認する必要がある。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ラインワークスや電話ですぐに医療チームと連絡が取れる体制作りができている。状況に応じて動くことができていない職員がおり、課題がある。
44		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時間は決まっておらず、ご様子を見てお声をかけている。大体の食事時間はあるが、ご本人にお聞きしたり、ご様子に合わせてたりして柔軟に対応するよう心がけている。お風呂はできるだけ夕方に対応しているが、職員数によっては早めの対応になることもある。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の写真を飾ったり、自分で縫った浴衣を掛けていたり、なじみの家具を使用したりしている。昔のアルバムや手紙を持ってきている人もおられる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お若い頃の写真や、ご家族との写真、ご家族からのお手紙等を飾り、そのご入居者の目線に合わせた高さに掲示し、ご家族を感じていただけるように配慮している。お位牌を置いている人もおられる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染防止の観点から、なかなかご希望に沿うことが難しく、近いところや人が少ない場所等をこちらからご案内することが多かった。自宅近くの神社へ参ったり、季節ごとのお墓参りにお連れしたりすることは続けていきたい。	できていると思われる。今後も思いを口に出せない人への支援の仕方を工夫することや、職員の自己満足になっていないか振り返ること等、忘れないようにする。		



46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけ自分で決めていただくように工夫して対応している。家事、事務仕事、運動、読書など、その人が得意なことやお好きなことにお誘いし、一緒におこなっている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「メリハリがある日々の生活」を大事にするように心がけている。ご入居者同士で話しが盛り上がっている時は見守り、ご様子をみてあいだに入るようにしたり、職員も一緒に活動して盛り上げたりしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人お一人それぞれにキラッと光る瞬間や笑顔がみられることを、何よりも大事に関わるようにしている。錦帯橋での初デートの再現、呉服屋で仕事をしていた人と浴衣を縫う、元保育士さんとピアノ、元国家公務員経理係と事務仕事、農業家と畑の視察等々、それぞれの経験価値を味わっていただける対応に努めている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染防止のため、なかなかできていない。	コロナを言い訳にしないように！ご入居者お一人お一人の暮らしを大切にする。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「40」と同様。出会えた皆さんの終の棲家となれるように、お気持ちを汲み取り、ご希望をかなえることができるように努めたい。ご家族からも安心・信頼を得ることができるほうばいの絆でありたい。	皆さんが本当のお気持ちだけをおっしゃっているわけではない、我慢していただいていたり合わせてくださっていたりするだろうことを忘れないようにする。ご家族、職員一人一人が同じ方向を向いて、ご入居者を支えていけるようにしよう。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者の表情やお言葉を大切に、ほうばいの絆だからこそその関りやケアをお届けできるように、また、ご家族の思いもこまめにお聞きして、良きパートナーとなれるよう今後も努めること。